

かみまち

リフオーク会で飼育中の羊と遊ぶ、保育園の子どもたち

広報

あさひ

No. 266

54 / 1

昭和42年5月21日第3種郵便物認可

力ある町を



新年おめでとうございます。よいお年を
迎えられたことと思います。≒1年の計は
元旦にあり。今年こそは——と決意も新た
にスタートされる方も多いことでしょう。
今月は新年にあたっての夢や抱負を、町民
の代表の方から寄せていただきました。

ことしの計画



大暮山小5年
阿部真司くん

今年は、絶対剣道で優勝したい。昨年は二位だったけど……。そのためには練習、練習、また練習だ。

剣道だけでなく、手伝いや勉強も大事だ。昨年は、あまり家の手伝いをしなかったが、今年はいっしょうけんめい手伝いをしよう。

勉強も、昨年は算数ができたのだが、国語はだめだった。今年国語をがんばるぞ。

ぼくは、「一に勉強、二に手伝い、三・四がなくて、五に剣道」と考えた。

もう少しで六年生。六年生になると、大人に近くなったよう



な気がするだろう。しなければならぬことは、責任を持つてしなければならぬし、自分が考えたことは、勇気を持つてしようと思う。

五年生の生活も、もう少しでおわりだ。六年生になると、広い世界が始まるのだ。

何でも進んで

ぶつかりたい

今年には羊年。わたしにとって、小学校最後の年になる。だから、勉強の方で、いままでもりも力を入れてやらなければならぬと思うている。読書や学



立木小5年
松田千鶴さん

校での勉強も、がんばりたい。

毎日の生活でも、自分の身のまわりのことはもちろん、仕事の手伝い、そうじ、せんたくぐらひは、ぜんぶ自分でできるように努力をしたい。

学校の生活も、六年生はたった四人しかいないので、たいへんかもしれない。

立木小学校の最上級生としてきそく正しくしなければ、下級

生たちにもはずかしい。もう少しで六年生になることを考えると、あまえていられないし、重要な役目につくのだから、できるだけ進んでものごとにぶつかっていききたいと思う。

決めた道を

まっすぐに

一年前に立てたはずの抱負が一体どんなものであったか、思い出そうとしても、思い出せない。それを立てたのか、立てなかったのかもさだかでない。これが昭和五十三年のぼくの奇跡である。

ただなんとなく、時の過ぎゆくままに身を任せてしまったのだ。今年こそはこんなことになりたくないと思っている。

しかし、身についた悪循環はこのままくり返し続けるかもしれない。

もし新年に立てた抱負が、忘れないで実行できたならば、今後、毎年立てる抱負は、除夜の鐘の音とともに思い出せるよう



朝日中3年
鈴木義行くん

になれるはずだ。
毎年規則的に新年はやってくる。小学校のころに、ただぼんやりと思いつかべていた大きな新年がやがてくる。それは避けて通ることのできないものだ。それは人生の大切な分岐点だ。自分の思う方向にまっすぐに進もうと思う。その後の長い人生の抱負のために。

視野を大きく

広げたい



朝日中3年
阿部富士子さん

あと三か月で、私は中学校を卒業する。それはある意味で一つの区切りであり、新しい出発点である。

だから、私たちにあって、この新年の決意は特に重要だと思う。それは、自分の目指す高校に入学するためであり、またその高校生活をより充実したものにしていくためでもある。

私の目標は、やはりまず、受験に打ち勝つことである。次にもっともっと、視野を広げることである。



みんなが築こう魅

、79 新春によせる

私は、自分の町である朝日町知らなすぎる。中学校が統合して朝日中になるまで、知らない地区名ばかり多かった。朝日町の人口を聞かれ、答えることが出来ず恥かしい思いをしたこともあったのである。

それです、自分の町をもっと理解しようと思う。また、もっと農業についても知りたい。町に望むこととして、産業の発展、自然保護の重視の二点をあげたい。これらは、私たちの世代も、大いに考えなければならぬことだと思う。

一日一日を

着実に

残り少ない高校生活にピリオドが打たれようとしている現在です。

例えば小学校から十二年間も学園生活を送ってきたわけですが、時がたつのは早いもので、あと二カ月で卒業。

来春からはいよいよ社会人としてスタートするわけですが、私の進路はもうすでに決まっています。

朝日分校生で、町内の企業に就職する人は、ごくわずかの人数にすぎません。しかし、どの企業に就職して

も仕事のことではそう変わりはないと思います。

先生は「おまえたちは、世の中にでてみないと、世の中の本当のことがわからない。」などとよく言われます。やはり高校時代の生活と社会人になってからの生活では、厳しさの面で違ってくるはずですよ。

だから自分自身で決めた道を迷わないように歩き続け、仕事に対しては精一杯の情熱をもって、また謙虚な心を失わずに、一日一日を着実に生きていきたいと思います。

ふれあいを

大切にしたい



左沢高3年
阿部三栄子さん

今年一九七九年は、私にとつては卒業の年であり、また、社会人一年生の年でもあります。



左沢高3年
村山康之くん

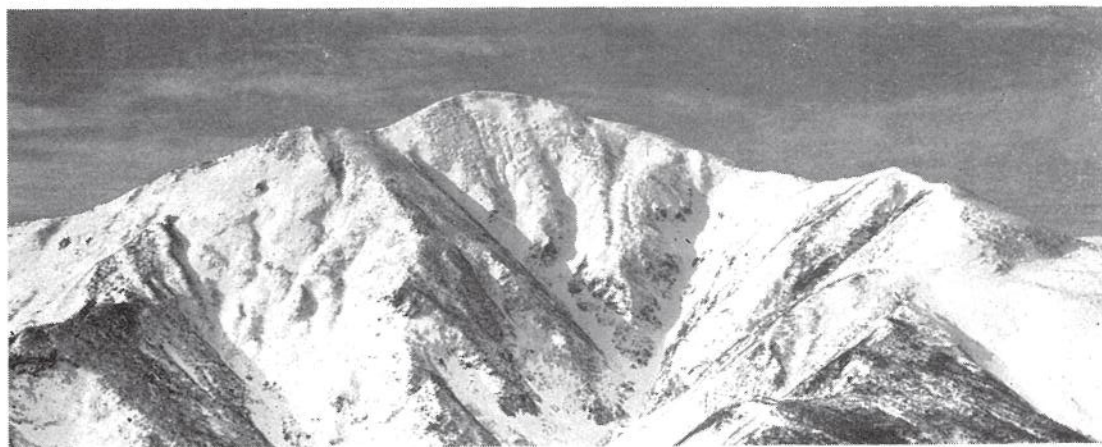
ほんとうに大切な年です。

私は今、卒業して行く寂しさと、社会に出て行く不安とで一杯です。

私は町内に残りますが、ほとんどの人は町を離れてしまいます。同じ町に仲間がいないということは、とても残念なことです。と同時に、町に残る者としての責任の重さを強く感じます。私は、人間としても社会人としても、まだまだ未熟なので、多くの方にご迷惑をかけることでしょう。でも自分なりに一生懸命努力するつもりです。

どこかの空の下で、精一杯頑張っている、多くの仲間達のことを、常に思い出したいと思っています。

私はこれから社会に出て、人との出あいやふれあいを大切にしたい。



そして自分なりに精一杯努力をして、人間として一歩一歩成長していきたいと思えます。

氷河の滑降

スキー縦走が夢



朝日町スキークラブ
朝日町 日田 朝日町 日田 朝日町 日田
朝日町 日田 朝日町 日田 朝日町 日田
(29歳)

いよいよスキーシーズン到来です。この頃になるといつも思い出すのは、初めて蔵王に行ったときのこと。初めて板の上に乗って、ころんでは雪だるまになり、人の滑りを見てくやしかったこと……。

俺もきつと彼等のようになるぞと、それから二年間がむしやうに滑り、スキー場に行くたび少しづつ上達して行くのがとても楽しかったです。

そして今、大きく夢が広がります。

きびしい寒さのなか、外にとび出たのスキーの楽しみ、歩くスキーや基礎スキーなど、子ども供達に教えてあげたい雪の中から楽しさやきびしさを覚えた子供達の声が、毎日聞えてきたらどんなに楽しいこと

だろう。そしてその中から将来オリンピックに出るようなスキー選手が出てきたら本当にすばらしいことだと思ふのです。

また、アラスカ・カナダなど氷河の滑降、朝日連峰のスキー縦走などにもぜひ行ってみたい

今年には待望の白倉スキー場ができたし、蔵王では世界のスキー教師が集まるインタースキーもあり、すばらしい年になりそうです。

朝日町でもこれからスキー人口がどんどんふえるだろう。みんな雪の上に飛び出そう、きつと楽しいよ。

りんごづくり にかける

りんごづくりにとりくんで七年あまり。とにかく自分の思うようなりんごを、自分の手でつくりたいというのが何よりの夢なんです。

雪国でむずかしいといわれるわい化栽培を手がけ、自分の技術の未熟さ、とりくみの甘さを



大谷三 白田富彦
さん (26歳)

力をあわせ豊かな

郷土づくりを

朝日町長 小林 富蔵

町民のみなさん明けましておめでとうございませう。

新年の年頭にあたり、過ぎ去った昭和五十三年の歩みを顧み、新しい年に決意を新たに第一歩を踏み出す事は意義あるものと思います。

昨年は当初天候の不順が心配されましたがその後持ち直し、農作物も比較的豊作となり幸いでした。

町づくりにおいては、杉ノ原、沼の平のほ場整備を始め農道の舗装、広域林道の整備清水工業団地の造成などにより農・工・商共存による産業の振興、町民所得の向上に一歩前進したものであると思ひます。

また栗木沢バイパスの完成、国道大隅地区の改良決定、県道山形一朝日線、長井一大江線白滝一宮宿線の改良のほか左沢一浮島線大谷地内の改良もまきまりました。

町道の方は、三中線や白倉線などの舗装、下芦沢前田沢

線中沢線の改良と道路網の整備がすすめられました。

さらに、大杉橋も本格的に工事が始められ、大谷の下水道工事も順調で、生産・生活両面にわたる環境整備がすすめられております。

福祉の面では、高齢者生産活動センターや、西部保育所の着工、通園バス設置と一歩



前進したものであると思ひます。

次に教育の振興の面では、朝日中グラウンドの完成、大谷のミニ体育館や町民武道館の建設、白倉スキー場の開設松程林業センターの完成のほか、西五百川小改築工事のスタート等により、教育振興の基盤作りが着々進行しており

ます。

以上昭和五十三年年度の町づくりを概観いたしました。が、町民各位の善意溢れるご協力によって、町づくりが順調に進展している事に心から感謝申し上げます。

さて五十四年ですが、今年も財政的には昨年以上にきびしい年であると思ひます。

政府の懸命な努力にもかかわらず、世界的な不況に加え石油の値上げ円高ドル安等により、景気の浮揚は意の如くならず、国も県も市町村もおしなべて赤字財政を余儀なくされるものと予想されます。

しかし、私は産業の振興による町民所得の向上、生産・生活両面にわたる環境の整備福祉の充実、教育の振興の四つの柱を中心に、町の発展に全力を上げる覚悟であります。断じて、行えば鬼神もこれを避く例えもありませう。

町民の英知を集め、慎重に大胆に町づくりに取組む決意です。ので、皆様方の絶大な御協力をお願いいたします。年頭に当り所信の一端を申し上げご挨拶といたします。

町民の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

ここ数年味わってきました。たしかにきびしい自然条件や栽培技術のむずかしさがありますがそれを乗りこえられる力を、先輩の指導をうけながらつちかっ
ていきたいですね。

いま農業はきびしい環境におかれており、とくに私たち若者は農業へとりくむ意欲を失いがちですが、やはり地みちに苦勞を重ねていく以外にないと思っ

ことしは

元氣な初孫を

ことしは長男に初めて赤ちゃんが生まれるんです。



真中 武田かつあ
さん (54歳)

私にとっては初孫。とにかく丈夫な赤ちゃんが生まれることを何よりものぞんでいます。

孫さん学級にも参加し、育児や家庭づくりを学んでいるんですが、嬉しい反面、責任が大きいなと感じています。やはり、安心してまかせられるといわれるようなばあちゃんになりたい。

てます。

毎年、どんな悪条件が重なっても、目標の七割の収益を着実に上げられるような経営ができた本物だといわれていますが、自分もそれを目標に頑張りたいと思います。

また、いま仲間と共にやっている剣道を、スポーツ少年団の活動を通し、多くの子どもたちに伝えていきたいですね。

それから、明るい家庭は何といっても家族みんなが健康で毎日を送ることです。主婦としても、家族の健康や毎日の食事に気を配りながら、料理講習や冬期学級など、婦人会活動の中でどんな知識を吸収していきたいと思っています。

不景気な世の中ですが、みんなが幸せになれる明るい年であってほしいと思いますね。

酒のみ運転を

みんなで追放

あけましておめでとうござい
ます。昨年中はいろいろご協力
ありがとうございました。

さて、昨年十二月一日より道路
交通法が改正されました。こ
れは皆さんを事故から守るた
めのものです。運転者は勿論、各



太郎駐在所
伊藤清助さん

家庭でも是非守って下さい。

- ① 自転車には反射板、反射鏡をつけましょう
- ② ブレーキはよく効くようにしましょう
- ③ 暴走行為は絶対やめよう
- ④ バイクに乗る時は必ずヘルメットを着用しましょう
- ⑤ 青空駐車はしないように

などですが、一番悪いのは『酒のみ運転』です。今度の改正では、酒のみ運転は一度で免許取消しになります。

今年、羊の年。羊は「平和のシンボル」ともいわれています。犯罪の予防、少年の非行防止「酒のみ運転」の撲滅、暴走運転の取締りなど、明るい朝日町になるよう私も頑張ります。

どうか皆様も事件や事故にあわず楽しい年でありますよう心からお祈り申し上げます。



話し合い重ね

部落に活力を

町議会議員 鈴木幸次郎



新年おめでとうござい
ます。福田内閣から大平内閣へと
移り新年は良い年になるよう
心から祈りたいものです。し
かし、誰が総理大臣になつても
棚からボタ餅というわけに
はいかないかと思っています。

ただ現在よりは、少しでも
国民が幸せになる道を拓く
のが、政治家の務めであり責任
かと思っています。

今年、選挙の年。四月八日

には県議会議員、四月二十二
日には町議会議員、そして年
内には国会議員の選挙も予想
されます。みなさんの、身近
な問題の代弁者を選ぶ権利を
充分ふまえながら、良い政治
家を生み出していただきたい
と思います。

わが町も昨年は政府の景気

浮揚策のおかげで、ずいぶん
共事業をやりました。おとし
よりの生きがいが高めるた
めの高齢者生産活動センターを
はじめ、西部保育所の新築、
武道館、北部体育館の建設、
道路網の整備など、財政規模
に比しやり過ぎた感はあるま
すが、町民が要望し政府が認
める事業は、多少の借金が
増えても止むを得ないことだ
と思います。

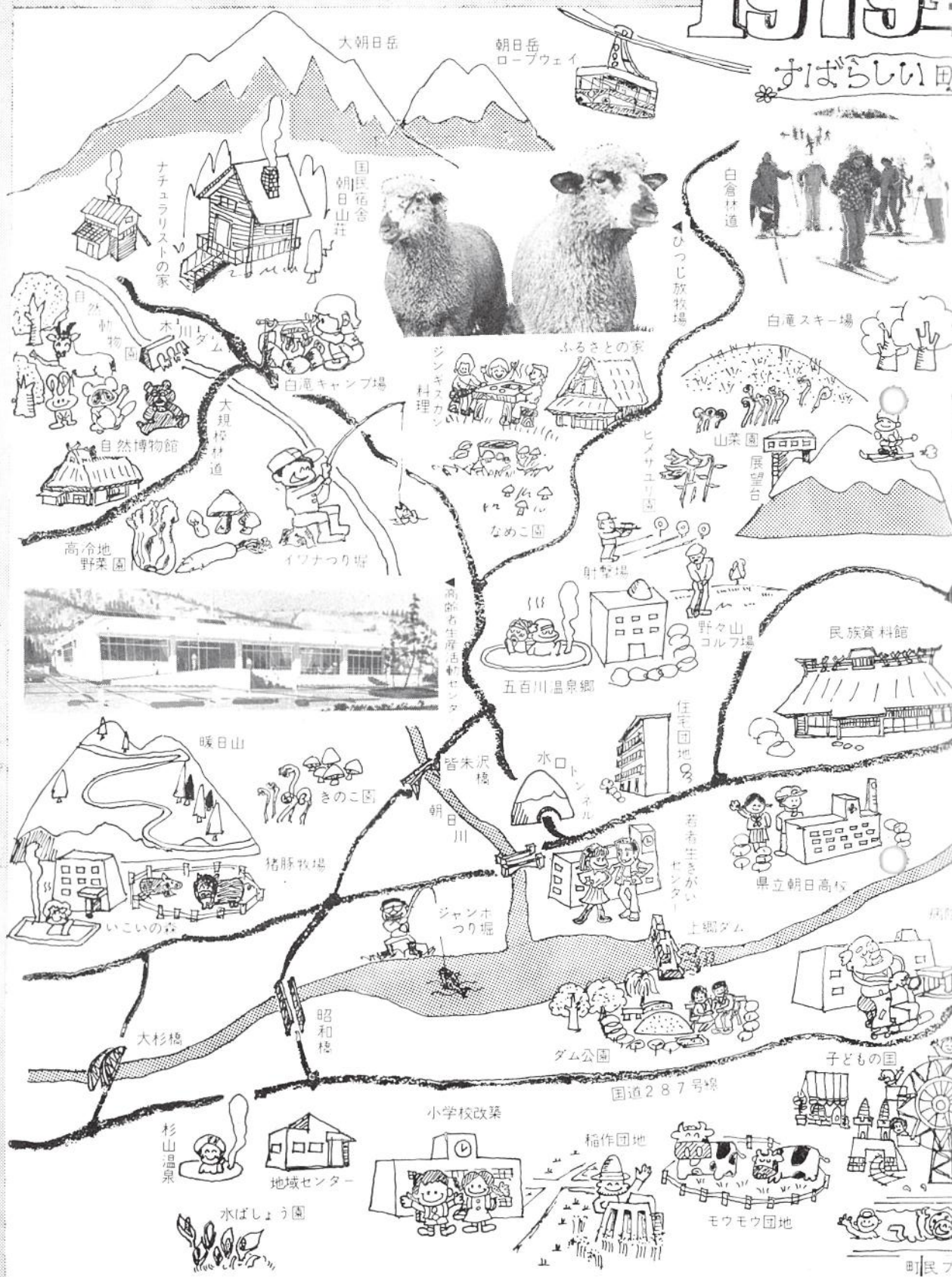
なお、今後は小学校の校舎
改築問題や病院の整備計画、
大谷下水道の完成後に予想さ
れる各地区の下水道問題など
住みよい町づくりのための事
業が、大きな課題として残さ
れております。

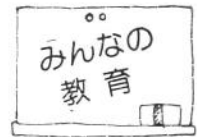
各部落においては、住民間
の話し合いを充分積み重ねな
がら、将来の計画をすすめて
いただきたいことを、念願す
るものです。

年頭に当り所感の一端をの
べ、町民各位のご多幸を祈り
ごあいさついたします。

1979

すばらしい田





毎日子どもたちと生活していると、『おや、これでもいいのかな? どうも俺達の子どもの時と違うぞ』と思われる問題にぶつかる。そんな子どもの実態を知っていたら、今日の子どものように伸ばしていった方がいいのか、家庭での教育の話題にしたいな、と思います。

家庭を、生きがいの教育の場に

現代小学生かたぎと家庭

廊下につけてろ



〇〇の奴、またいたずらをしでいる。どうにも我慢しきれなくなつて「廊下につけてろ!」と言つてしまふ。子どもは、平気でスーと教室を出て行く。俺達の頃には、先生にえり首をつかまれても、机にしがみついているのが多かったのに……。

廊下につけていても、いたつて気楽なもの。要領よく便所に行つたり、水飲みに行つたりするものもあるし、立派にいて早く教室に入れてもらおうなどという気はない。

「家へなんか帰つてこなくてもいい。出ていけ!」と、どなたところ、本当にどこかに行つてしまつて、親の方が困つた話などもよく耳にする。親父にぶんなぐられ、外に出されるのに必死で抵抗した俺達の頃とは大違いなのだ。

話を横道に

そらす子ども

ものを測る単位について勉強している時のことである。

「メートルです。」「リットルです。」「キログラムです。」「ポンドです。」「プロレス、ジャイアント馬場」などのささやきが聞こえてくる。

「もつとないかなあ。」「マツハです。」「おー、むずかしいの知つていな、どんな事が説明して。」

答えられない。誰か知っている人は、と見たらすと「〇〇戦とう機がマツハ3だの、ウルトラマンがマツハ3だ」のと、話は完全に横道にそれて行くのだ。

テレビやダレントに關係のある言葉が出てくると、すぐそちに引っぱりこんで、元氣が出てきて生き生きと参加するのである。そういう知つたふりをする子にかぎつて、説明できるほど知らないものであるが、困つたものである。

先生ケンカだ

廊下で子どもに知らされて、教室に行つてみると、大げんかだ。しばらく見ているがものすごい。なぐる、ける、ひっかくの手かげんなしのすごいけんかである。

怪我でもしたら大変と思い、「カーン。第一ラウンド終了。一分間休けい。」



毎日子どもと昼食を共にして

食事の仕方 がどうも

と言って分けてやる。黙って少し待っている。
「第二ラウンド、カーン。」
両者ともにやる気がないのに、「○○ちゃんやれ。」
「××君やれちゃ。」
とけしかける者はいるが、「やめろ」と言う者がいないのだ。さつき知らせに来た子どもも「けんかしたから、先生やめさせてくれ」と言う意味で知らせに来たのではなくて、「先生もいっしょに見んべ」と言うことなのである。
キックボクシングやプロレスまがいのけんかをし、それぞれを応援見物して、けんかを止めることのできない子どもたちなのである。

いるが、その中で気になるものを記してみよう。

▽嫌いなものは絶対食べない
▽おかずがなくても食べられる
▽魚の食べ方がへただ
▽最後まできれいに食べない
▽箸の使い方がへただ
嫌いな食べ物が出ると、わざと落としたり、時間切れをねらったり、(時には食べるまで待つが)食べられるようになる努力をしないのである。
魚は、小さい小骨まで取らないと口にしないし、皮を食べない子どもが多い。
これでは、大人になったら、嫁に行ったらどうなるのかと、心配になってくるのです。

おかあさんが 言ったので……

都合が悪くなると、何でも人のせいにしてしまうのです。
みんながまだ半ズボンなのに長ズボンをはいっているの聞いてみると、「おかあさんが着ていげと言ったんだ」の返事。掃除の仕方が悪いので注意すると「○○君がすると言ったはげ。」の返事。おかあさんが「宿題する」と言っても平気で忘れてくるくせに、と思うのです。

ひもが 結べない

水泳の時間にヘルパー(水に浮くように背中につけるうき)をつけさせたと、腹の所でひもをうまく結べないのです。また、とじひもを、きちんと結べないのです。
▽ほうきやはたきが、正しく使えないのです。
▽鎌で草が刈れないのです
▽鍬で土を耕せないのです
こういった、社会生活ができるための、生活技術のない子どもが多いのです。



以上、子どもたちの実態の一部を書きましたが、広報委員の皆さんは、次のような感想を話してくれました。

- (1) 家でたたかかれていないから、なぐられた時の痛さがわからないのだ。
- (2) 兄弟が少なく、兄弟けんかをしないので、手加減を知らないのだ。
- (3) 昔は「かがりつくら」なんてして遊んだので、けんかの要領を知っていた。
- (4) 今は、病院で死ぬので、子どもたちは、死ぬ時の苦しさ、悲しさを見ていない。

家庭は 生きた体験の場

わたしたちは、現在の子どもたちに、希望をもち期待をかけているのですが、果たしてわたしたちの希望するような、期待しているような子どもに、生き生きと育っているでしょうか。けっしてそうではないと思うのです。

子どもたちの将来の幸福は、単に勉強ができたか、できなかったか、(一つの条件ではあるが)ではないと思うのです。
誰にでも好かれるよい人柄、どんな境遇になろうと、常に心のすなおさ、豊かさを失わない人間。ひとりで食っていける自主独立の生活力をもった人間だと思ふのです。
勉強、勉強と子どもを追いつくことでなく、家庭のいろいろなことを、つらくても経験させること。理屈ではなく、体験によつて学びとらせることが、あの時のことを思えば出来ないはずがないという意欲となつて発展するのではないのでしょうか。
たとえば、物質文化がどう進もうとも、子どもにとって家庭不在の文化はありえないと思うのです。



すなおな子どもに育てたい……

町民の ひろば



ご意見・話題をどし
どしお寄せ下さい。
—広報係—

全員参加のミニ芸術祭

常盤地区作品展開く

ワラ工芸品や手芸、絵画、習字、焼物、生け花、版画、写真、骨董品、盆栽など……。

これは、さる十二月十七日から三日間、西部公民館で開かれた第一回常盤地区作品展会の出品あれこれ。

昨年四月に発足した、地区レクリエーション協会（村山俊雄会長）が主催して、地区民みん

なに参加できる行事をと開いたもので、八十点あまりの力作が寄せられました。

この協会は、常盤、夏草、長沼三区の区民が交流する場をつくろうと、区民の間から話が盛り上がり、これまでソフトボール大会などを行って、親ぼくを深めてきたものです。

今回の展示会は、日頃あたた



めているお互いの趣味や特技を発表しあう、ミニ芸術祭ともいえるもので、子どもからおとしよりまで全員参加。日曜日には地区民総出で鑑賞するなど、なかなか催しとなりました。

“青い鳥運動”を町ぐるみで

健康は私たちのもつとも身近で大切な問題でありながら従来からあまり顧みることが少なかったように思います。近年、長寿王国とうたわれるようになったわが国でも、農村部はまだ農夫症といわれる疾病が多く、疲労の蓄積による成人病などの併発が以前として目立っており、大きな問題となっています。

とくに上郷地区の場合は、最近まで全死亡の七割が成人病によるものという、町内でも高い率を示していました。昭和50年、県医師会より「青い鳥運動」のモデル指定を受け、全地区民の総合検診を行った結果、受診者の九割に異常が発見され、区民自身大きなショックを受けました。

これを契機に地域医療の研究がすすめられ、郡医師会や保健所、県成人病センター、町の強力な指導のもとに「自分の健康は自分で守る」との基本姿勢にたった「上郷地区健康を守る会」が結成、地域ぐるみの成人病追放運動が始まったのです。病気をなくすにはまず検診を受けることから——と地区民皆検診の啓蒙

をすすめた結果、当初60割だった受診率が今年は70割（30歳以上）に上昇、成人病による死亡率も昭和40年代に比べると23割も減少したのです。また、健康教室や栄養教室などの学習によって日常生活にも良い習慣が生まれ、予防意識の向上により、早期治療がすすめられ、要治療者も三年間で一〇割も減っていること



がわかりました。

こうした一連の事業は部落づくり運動にもつながって、地区民の連体感の高まり、健康祭や環境整備事業への参加者の増など、大きな成果が生まれました。これからも公民館活動の中でこの芽を育て、新しい部落づくりにとりくんでいきたいと考えています。

さらに、健康で明るい町を



「青い鳥運動で検診率が高まるなど、大きな成果が上がった」

つくるために全町にこの輪を広げ、「朝日町健康を守る会」の発足をぜひ提唱したいと考えるものです。

金山町では、五年間で成人病を半分に減らし、秋田県の井川町でも昭和38年から15年間にわたり、全住民に循環器検診や事後管理指導の徹底をはかって、脳卒中半減という成果を上げています。

青い鳥運動に始まった一隅の活動が、町民総参加による保健事業へと発展させることができれば、きっとすばらしい町づくりができるのではないのでしょうか。

△杉山 花山伝夫△

型絵染め

内閣総理大臣賞に

朝日分校美術部



ふるさとの美しい自然や身近な風物を素材に、あざやかな色彩で染めあげる朝日分校美術部伝統の「型絵染め」。全国学芸コンクール（旺文社主催・文部省後援）で、これまで輝かしい実績を残していますが、今年は三年の佐藤博司君（大谷二）製作の『朝市』が、みごと内閣総理大臣賞を受賞しました。

美術部のメンバーは現在三十一名。四十九年に佐藤満先生が赴任されてから、型絵染めやイラスト、版画など、特色ある製作活動を続けてきま

した。

とくにこの型絵染めは、アイデアスケッチに始まり、下絵書き、のり置き、色付け、色止めそして朝日川の清流で洗い落とす「水元」と、夏休みを中心に四カ月もかかってコツコツとつくり上げる力作。

佐藤君は「三年間美術部で活動し、つらい時もありましたが本当にすばらしい思い出ばかりです。先輩たちの築いた伝統を目標に活動してきましたが、苦労がみのって、こんなに嬉しいことはありません。」と語っていました。

また今年は県高美展で、佐竹富士子さん（三年）が最高賞の県高美展賞、全国学生イラスト

コンクールで佐藤博司君が入選、愛鳥週間ポスターコンクールで阿部寿子さん（二年）が入選とめざましい活躍ぶりで注目を集めており、朝日分校では、たび重なる受賞に大きな喜びにつつまれています。

■町民バド大会成績

▽ママさんタブルス ①滝川・岡崎組 ②松尾・吉田組 ③堀・阿部組
▽ダブルス ①大波・菅井組 ②清野・鈴木組
▽I部シングルス ①菅井真利 夫②大波正広
▽II部シングルス ①阿部喜栄 治②渡辺恭伸

広がる善意の輪

歳末たすけあい運動

みんなそろって明るいお正月を——とことしも歳末たすけあい運動が行われ、町民の方々からあたたかい善意がよせられました。ことしは総額で七十六万四千七百五十円が集まり、このほど開かれた配分委員会が検討した結果、保護世帯などに五十八万四千七百五十円、施設入所者（六十名）に十八万円がそれぞれ贈られることになりました。みなさんの善意に心から感謝いたします。

●募金の内訳

中部地区 三五一、三〇〇円
西部地区 二三五、二五〇円
北部地区 一七〇、二〇〇円
サンライズKK 五、〇〇〇円
石井製作所KK 三、〇〇〇円

計 七六四、七五〇円

●配分内訳

中部地区 三〇六、八八〇円
西部地区 一六五、五〇〇円
北部地区 一一二、三七〇円
施設入所者 一八〇、〇〇〇円
（一人三千円×六十名分）

計 七六四、七五〇円

「新春に燃えるおとめ心」

阿部多貴子さん（大谷五）

わずかりぬームのある歌声を聞



「モシモシ、朝日町役場ですが、阿部さんいらっしゃいますかーという電話を、旭銀座からと勘違いしたと笑う。

現在、山形の会計事務所に勤務。ザ・モンスタース二代目ボーカルのはちのおとめ

だ。八月にスカウトされ、今まで二季程演奏会に出ている。「いつもまちがってばかりで」と首をすくめる。「でも、テレビのように歌えたら楽しいでしょうね。家の人には、ばかみたいと言われるけど。」高校時代にはブラスバンド部でクラリネットを吹いていたせいか、小さな体に似合



かせてくれる。
十一月からは、友達とアパートに住んでおり、練習日には列車で通ってくるそうである。スポーツも得意で、中でもバレーボールは大好きという。「試合のときは仕事を休むこともあるのよ。」と、意気込みのほどをチラリ。
新春を迎え、おとめ心は歌にバレーに、そして……にと静かにゆれているのです。
写真と文・安藤茂雄広報委員

善意の籠



社会福祉協議会

に現金寄贈

このほど、町の社会福祉協議会に対して、次の方よりたくさんの方の善意がよせられました。心から感謝申し上げます。

▽常盤 鈴木友吉さん(叙勲祝賀のかわりにと三万円)

▽商工会青年部(石田勝義会長・キャンディキャンディ公演の売上げ金の一部を一万九千四百円)

▽助ノ巻 鈴木政一さん(恵まれない方のためにと五万円)

▽町連合婦人会(今井イサ子会長・芸文祭のバザー売上げ金

の一部を一万円)

▽松程 佐竹綾子さん(編物講習開催のお礼にと一万円)

▽松程 鈴木幸子さん(福祉に役立ててと三万円)

▽本町 安藤いとしさん(恵まれない方のためにと三万円)

▽本町 長岡智津子さん(つり銭を貯めたものを、歳末たすけあいにと五千六百七円。三年間続けて寄贈)

大谷小学校へ
雑布をどっさり

このほど、大谷二区の榊たかえさん(84歳)が大谷小を訪ずれ「ひ孫が毎日お世話になってるお礼です。そうじの時に役立て下さい。」と、手ぬいの雑布百枚を贈られました。

大谷小では、丹精こめてつくられた贈りものに、心から感謝しています。

節約セツかん



路傍の神々

仏たち

己末の元朝、すがすがしい新雪を踏みしめながら郷土の産土神豊龍神社の社頭にぬかづく。樹令一千年を越えるご神木は亭々として新春の空にそびえ、白雪に映える社殿は一そう神々しさを感じさせる。社伝によれば、今を去る一、一三五年の昔(承和十一年)延暦寺の僧安恵という者奥州巡行の際当地に講場を開いた時、神が安恵に託宣して曰く「我は是海童神の女である。汝が為に護法善神とならん」と。安恵は豊玉姫を鎮祭し、豊龍大権現として始めて社殿を創建したと伝えられている。豊龍神社一帯の丘陵地は経ヶ崎という字名になっているが、これは安恵和尚が経文を土中に埋めた故の地名といわれる。社名は明治維新まで「龍神様」といって親しま

宮宿「豊龍神社」

れ、神仏両部をもつて祭祀を掌り代々東守寺・豊島家が別当を務めて来た。

慶長年間、米沢藩上杉氏直江山城守兼統を主将として攻め入り、惜しくも社殿炎上神戸焼失したが、その後寒河江肥前守が社殿を再建した。これが今を去る約三八〇年の昔

であり、今の本殿は当時の両袖香蘭造りの建築で誠に優美な技法である。

豊島家は代々東守寺として別当職を務め、奥座敷床の間に羽黒山別当天有より賜った修験先達の免状が掲げられている。

「羽前最上村山郡東五百川東守寺ハ羽黒山末流天台宗修験先達也(以下略)」
明暦二申七月一日

羽黒山別当宝蔵院執事

天有

豊龍神社は稲作の神であり五穀豊稔の守護神である。例祭は昨年より五月三日、盛大に行われている。

(文 長岡幸助広報委員)

編集室より

新年号をお届けします。

ことしはいよいよ高齢者生産活動センターがオープン、おとしよりにとって明るい年になりそうです。

新年を迎えて、町民に愛され親しまれる広報あさひにするため、編集子一同心を新たに頑張ります。ご協力下さい

